

# The way forward

トップインタビュー

## より強いMORESCOへと 事業・組織を変えていく。

当社の第61期の業績は、第3四半期まで順調に推移しましたが、第4四半期に米中貿易摩擦の影響により中国での販売が減速、また他方で半導体メモリーのSSDに押されてHDDの需要が落ち込んだため合成潤滑油事業にブレーキがかかり、目標達成に至りませんでした。当面はこの不透明な状況が継続すると予測され、今後の舵取りはより慎重さが求められますが、当社内部を見れば、次の利益を出していくための準備は着々と進んでおり、状況は決して悪くありません。一つには特殊潤滑油事業において、水溶性少量塗布型離型剤という付加価値の高い新製品がお客様に受け入れられており、利益率改善に成功しています。また潤滑油だけでなく、装置やシステムを含め、お客様に環境改善や生産性向上を提案する新たなビジネスモデルも積極的に推進し、すでに大手での採用にもつながっています。これらの提案は、自動車の生産が次第にEV車に移行しても引き続き私たちの強みになると確信しています。このほか、今後大きく期待したいのはやはり、6月に稼動するインド拠点です。この新工場がスタートすることで、当社の海外展開はさらに勢いがつくものと期待しています。また、このような事業面だけでなく、働き方の改革も推進しており、有給休暇取得率などが目に見えて改善されていることから、各個人がより力を発揮しやすい環境が整いつつあると感じています。どうぞ変化し続けるMORESCOにご期待ください。

株式会社 **MORESCO**

代表取締役会長 CEO 赤田 民生



# VISION

今後の成長戦略について

## 提案強化

厳しい市場の中で改善を求めお客様に付加価値の高い製品で独自の提案を。

米中貿易摩擦などにより、いま私たちを取り巻く市場環境は厳しさを増しています。しかし逆風の中だからこそ、多くの企業が積極的な改善策を求めており、私たちの提案が生きる余地も広がっています。水溶性少量塗布型離型剤などは、従来品に比べ大きく環境を改善できる価値を備えた製品のため、大手のお客様にも導入が進んでいます。また中国では環境規制が年々厳しくなり、低VOC化が多くの企業の共通課題となりつつあるため、当社が提案する低VOC型ホットメルト接着剤の需要も高まっています。私たちはこれを好機と捉え、従来の衛生材市場だけでなく、医薬関係などの新たな市場にも積極的に参入していくことを目指していきます。

## シェア拡大

当社が強みを発揮できる製品を、グローバルトップブランドに引き上げる。

当社には、国内ではトップシェアでも、世界的にはまだ十分なシェアが獲得できていない製品も数多くあります。そのような強みのある製品を、アジアでNo.1、世界でNo.1のブランドに成長させることを計画。市場における存在感を強めることで全体的な販売促進につなげていく考えです。具体的には中国・東南アジアの展示会での価値訴求活動を強化し、実現を目指していきます。

## 体制変更

デバイス材料事業部内に位置づけていたOPVプロジェクトを独立させ、開発を加速。

フレキシブルで意匠性が高く、いま世界中から注目を集める有機薄膜太陽電池(OPV)。この未来の電池を開発・販売していく次世代事業をより力強く推進するため、デバイス材料事業部からOPV開発部として独立させます。ここに専門の人員を充て、リソースを確保することで、開発スピードを高めていきます。

逆風をチャンスと捉え、強みを具体化していきます。

代表取締役社長  
社長執行役員 COO

両角 元寿





# 次なるグローバル展開を見据えて、世界各地の生産を活性化!



ハイブリッドな新工場の設立  
(潤滑油・ホットメルト両部門の早期収益化)

## China

現地の需要に合致した新製品展開  
(中国と日本のR&D部門の連携により)



## India

MORESCOの今後の飛躍のためには、海外事業のさらなる発展が欠かせません。そこで私たちは、近年中に海外のビジネス基盤をより確かなものにし、現在の海外売上比率40%弱を50%まで引き上げようとして目論んでいます。この計画を遂行するうえで、試金石となってくるのが、6月のインド拠点開設です。インドは大きな市場ながら先行他社が事業展開に苦しんでいる土地ですので、当社は潤滑油とホットメルトという両方の製品をこの拠点で生産できるようにし、安定的な収益を見込めるよう計画しています。このようなハイブリッドな工場を海外に設けることは、当社としてはじめての試みです。インドのほかに重視しているのは、市場規模の大きな中国とアメリカです。中国では、米中貿易摩擦などの外部要因

により波乱含みですが、ダイカスト用離型剤のシェア30%を確保しているなど、当社の状況は決して悪くありません。今後も当社ならではの高付加価値の製品を積極的に展開し、一層のシェア拡大に努めていきます。一方アメリカでは昨今厳しい状況が続いていますが、次期は精力的に改善を図ります。当社はチップ潤滑剤の塗布方法などで特殊な技術を有していますので、これらを核にほかのメーカーにはない現場改善提案を行い、市場におけるMORESCOの存在感を高め、利益拡大につなげていく考えです。いずれの国においても、日本で培った高度な技術とサービスを各国のニーズにうまく適応させ、新たな市場を切り開いていくことがカギだと認識しています。

## MORESCO 年間トピックス

### 9月 バンドー神戸青少年科学館の特別展に出展

夏の特別展「世界に誇る日本のイノベーション」に、ハードディスク表面潤滑剤と有機薄膜太陽電池(OPV)を出展し、多くの方に当社製品を知っていただけました。



### 11月 日本ダイカスト会議・展示会に出展

11月8日からパシフィコ横浜で開催されたダイカスト展示会に、松村石油様と共同出展しました。当社は離型剤の特徴である「湯流れ性」にフォーカスした展示を行い、新製品の評判も上々でした。



独自の技術を軸にした  
提案活動の徹底と利益の拡大



America



取締役 上席執行役員 海外担当 瀬脇 信寛

世界で輝くテクノロジー

環境改善に貢献する

## 水溶性少量塗布型離型剤



〈通常塗布〉

〈少量塗布〉

ダイカスト製造工程では、金型から製品を取り外しやすくするため、離型剤を塗布します。一般的に離型剤は数十倍から数百倍に希釈して使用されますが、MORESCOでは希釈することなくそのまま塗布する水溶性少量塗布型離型剤を開発、製品化しました。塗布量は従来品の約1/100で済み、ダイカストマシンから垂れ落ちる廃液はほぼゼロ。塗布の際に生じる飛沫を抑えられ、作業環境改善にもつながっています。また、金型昇温のために行われていた「捨て打ち」の回数を約30%削減できます。金型の熱疲労を抑え、金型寿命が約2倍に延びた例も。使用される潤滑油量の削減だけでなく、生産の効率化、設備の長寿命化などトータル改善に貢献します。

メリット

- 1 塗布量が少量で済み、使用量を節約できる
- 2 廃液ゼロにより、環境負荷を低減させる
- 3 生産設備に負荷をかけず、長寿命化に貢献

## 11月 平成30年度神戸市環境奨励賞を受賞

2018年11月9日、平成30年度神戸市環境奨励賞を受賞しました。環境に配慮した当社製品(水溶性少量塗布型離型剤、ホットメルト接着剤、有機薄膜太陽電池(OPV))と清掃活動が評価されました。



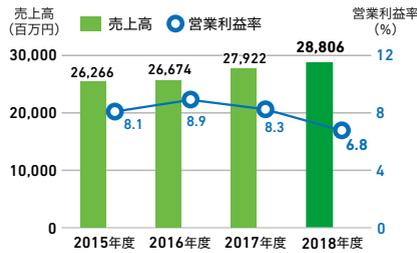
## 11月 千葉工場新事務所棟 竣工式

2018年11月16日、千葉工場新事務所棟と倉庫棟の竣工式を執り行いました。事務所棟は鉄骨造で3階建、倉庫棟は鉄骨造で一部2階建。新たに研究設備を整え、将来へ向けた研究開発を進めます。



当連結会計年度の売上高は28,806百万円(前期比3.2%増)となりましたが、経常利益は2,202百万円(前期比15.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,438百万円(前期比11.4%減)となりました。

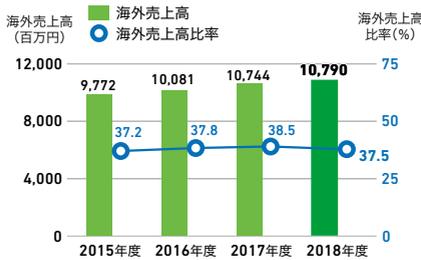
売上高と営業利益率



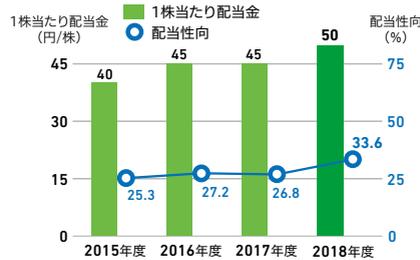
経常利益と経常利益率



海外売上高と海外売上高比率



1株当たり配当金と配当性向



自己資本と自己資本純利益率(ROE)

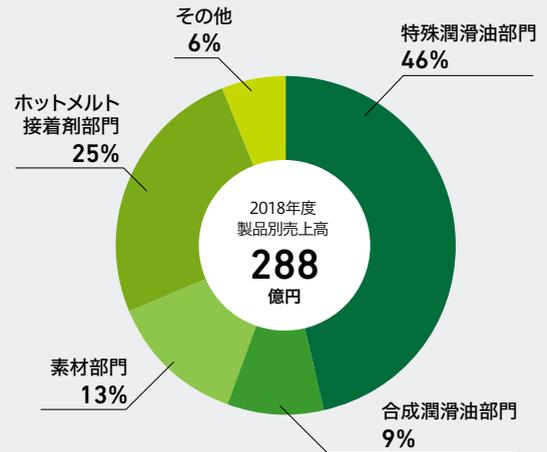


セグメント情報



堅調な自動車生産に支えられ全体の売上が増加したが、利益率は低下。

ダイカスト用油剤、切削油剤、高温用潤滑油等の自動車関連製品において、顧客の堅調な生産状況や新規顧客の獲得によって出荷が好調に推移し、売上を伸ばすことができました。一方、原材料価格のさらなる上昇やハードディスク表面潤滑剤の出荷減少等により、利益率が低下する結果となりました。



特殊潤滑油

顧客の堅調な生産状況に加え、主力のダイカスト用油剤の新製品の拡販成功により、売上は好調に推移しました。

合成潤滑油

高温用潤滑油が好調に推移した一方、ハードディスク表面潤滑剤が減少に転じ、全体の売上は前年を下回りました。

素材

流動パラフィンはいくつかの用途で出荷が減少したものの、医薬・化粧品用途で増加。売上は前年を上回りました。

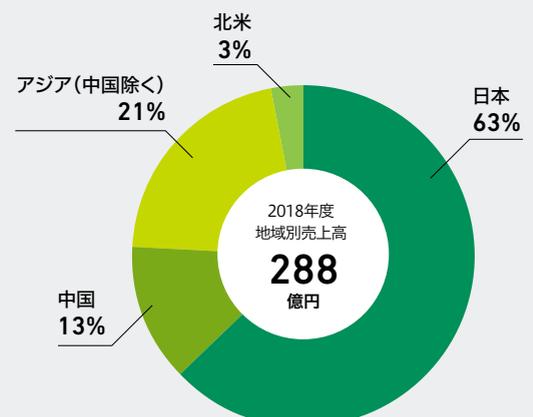
ホットメルト接着剤

粘着用途での出荷が増加した一方、衛生材用途での顧客の販売減の影響を受け、売上は前年比微増に留まりました。



東南アジアでは売上を伸ばすが、為替要因などで利益が振るわず。

日本では自動車生産が好調に推移するも中国経済の失速などにより停滞感が広がり、売上を伸ばしきれない結果に。中国では高真空ポンプ油および切削油剤が増収となった一方でダイカスト用油剤および難燃性作動液が減収。結果として売上は前年を上回るも、原材料価格の上昇などにより、利益率は前年を下回っています。東南・南アジアでは好調な自動車生産に支えられ、売上は前年を上回りましたが為替の影響により減益。北米では熱間鍛造潤滑剤がリサイクル使用などの影響を受け、売上は前年同期を下回っています。



# 本社・第2研究棟見学会開催のご案内

株主の皆様にもMorescoへのご理解を深めていただくことを目的に、  
本社・第2研究棟見学会を開催いたします。  
この機会にもMorescoの研究開発活動をご紹介します。



## 見学会概要

見学場所	株式会社Moresco 本社・第2研究棟 (神戸市中央区港島南町5-5-3)
実施日時	2019年9月20日(金) / 11:00~15:00
参加料	無料(ただし集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。)
その他	ご見学時の写真・ビデオ撮影はお断りさせていただいておりますのでご了承ください。 ご応募により当社が取得する株主様(ご同伴者様)の個人情報につきましては、本見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用いたします。

## 応募要領

対象者	2019年2月28日現在、当社株式をご所有の株主様 (ご同伴者は小学生以上の方1名まで可)
募集人数	30名(ご同伴者を含む) ※応募人数が多数の場合は、抽選とさせていただきますので、予めご了承ください。なお、当選のご連絡およびご参加いただく株主様への詳細なご案内は、2019年8月中旬ごろに送付する予定です。 (当選者へは当選のご案内の発送をもって発表とさせていただきます。) (抽選にもれた方へは、ご連絡はいたしませんのでご了承ください。)
応募締切日	2019年7月12日(金)(到着分をもって締切) ※2019年5月28日発送の第61期報告書に「参加申込はがき」を同封しております。
お問い合わせ先	株式会社Moresco 広報室 TEL.078-303-9058 ■受付時間 10:00~17:00(土・日・祝日を除く)

## 会社概要・株主情報 (2019年2月28日現在)

### ■会社概要

商号	株式会社Moresco
設立	1958年10月27日
資本金	2,118,294,000円
従業員数	375名

### ■本社および事業所

本社・研究センター	神戸市中央区港島南町 5丁目5-3 電話078-303-9010(代表)
支店	東京支店 / 大阪支店
営業所	名古屋営業所
工場	千葉工場 / 赤穂工場

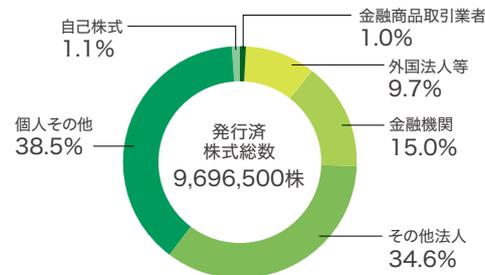
### ■役員構成 (2019年5月28日現在)

代表取締役会長	CEO	赤田 民生
代表取締役社長	社長執行役員 COO	両角 元寿
取締役 専務執行役員	CFO	竹内 隆
取締役 上席執行役員	海外担当	瀬脇 信寛
取締役 上席執行役員	CTO	坂根 康夫
取締役	浅野 応孝	
取締役	リ・ジュ・ジュディ・リン	
取締役	出口 侑宏	
常勤監査役	作田 真一	
監査役	富野 武	
監査役	小沢 史比古	
監査役	長谷川 克博	

### ■株式の状況

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式総数	9,696,500株
株主数	15,847名

### ■株式所有者別分布状況



### ■大株主

株主名	持株数	株主比率(%)
松村石油(株)	1,067,000	11.1%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE-HCR00	671,700	7.0%
コスモ石油LPリカンツ(株)	503,000	5.2%
日本曹達(株)	365,000	3.8%
Moresco従業員持株会	330,920	3.5%
双日(株)	327,000	3.4%
三菱商事(株)	327,000	3.4%
(株)みずほ銀行	250,000	2.6%
(株)三菱UFJ銀行	250,000	2.6%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	225,400	2.4%

※株主比率は自己株式(105,141株)を控除して計算しております。

## 【ご注意】

- ◎株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。  
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- ◎特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- ◎未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

## 株主メモ

### ■事業年度

3月1日~翌年2月末日

### ■期末配当金受領株主確定日

2月末日  
(中間配当を行う場合)

8月31日

### ■定時株主総会

毎年5月

### ■株主名簿管理人および

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

### ■同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目

6番3号

TEL:0120-094-777(通話料無料)

### ■上場証券取引所

東京証券取引所

## 公告の方法

電子公告により行う

公告記載URL

<http://www.moresco.co.jp/>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に公告いたします。)